

## 団長の独り言

「四枝美和の独り言」

いつも劇団ふあんハウスを応援してくださる皆様、初めまして！「人生芸夢」夢のとおり道「板橋公演」より劇団ふあんハウスの劇団員となりました四枝美和と申します。

今週も公演終了後の特別編として、団長の平野恒雄に代わり、四枝美和の独り言をお届けいたします。

さて独り言の1発目、劇団ふあんハウスとの出会いや公演の感想など、何を話せばいいかと迷いましたが、今回は7月の公演の感想です。

改めて7月の「人生芸夢」夢の通り道「板橋公演」ありがとうございます！無事に幕を下ろすことができました！これも一重にご観劇くださった皆様と、支えてくださった多くの皆様のお陰です。

本当にありがとうございます。今回は、まさかと思うことがたくさん叶う公演になりました。

2月の公演を（観客として）見て感動し、ずっとふあんハウスに参加してみたいと思っていました。

しかしいろいろな事情が重なり、中々決断ができませんでした。

そしてようやく劇団ふあんハウスへの参加を決めた時には既に7月公演の稽古が始まっていました。

その事は知っていたので「今回は出演は無理そうだな、ボランティアやスタッフとして関わりたいいな」と思っていました。

しかし団長の平野さんからの返事は、「役を増やしますので、ぜひ参加していただませんか？」でした。

もう正直意味がわからなくて、何度もメールを読み直しました。

だつて既に完成されている作品で、しかも稽古も始まっている。

そこから役を付け足すのはとても大変なことだし、他の出演者の方にも迷惑がかかってしまいます。

それでもやりましょう！と言ってくださり、しかも出演箇所が2箇所もありました！これは団長がどれだけ大変な思いをして付け足したんだろうという思いとともに増やしていただいたかには誠心誠意やらなければと強く思いました。

私演じる「真子」は高山芸術座の歌姫、香のファンで、2幕の冒頭に登場します。初めに歌いながらの登場に、香さん始め高山芸術座の人たちはびっくり！そりゃそうですね。

いくらファンだからって見知らぬ人がいきなり楽屋に突撃しているのだから驚くのも当然です。

香さんに特製のぬいぐるみを渡して握手までして、その後はなんと高山芸術座のみんなに（横溝さんにお昼までごちそうになりました…笑

団長に「真子ちゃんとはかく元気いっぱい！」と言われて、今までにないくらい声と笑顔を出したような気がします。

なので毎回稽古場までの電車で音楽を聴いて気分をあげてから挑んでいます。

そしてもう一つのシーンは物語の終盤、東京の芸能事務所へ行ったはずの香が戻ってくる決意をした理由を話す場面。

こちらは回想シーンで、真子が足に病気を持っていること、その手術で親とケンカしたこと、人生に落ち込んでいた時に香さんの歌を聴いてもう一度頑張ろう！と決心したことが語られます。

香さんにとっても真子にとってもとても大切な場面なので、何度練習しても納得がでなかったのを覚えています。

どうしたら真子の気持ち香さんに伝わるのか、香さんの「夢のとおり道」

を聴いて何を感じたのか？そしてそれをお客さんに伝えるにはどうしたらいいのか？ずっと迷っていましたが、とにかくまずすぐに正直に伝えることを意識しました。

それが伝わっていたなら嬉しいです。

2月の公演を観劇した時、香さんに憧れて、まさかその数か月後にファンの役をやらせていただけるなんて思いもありませんでした。

そもそも劇団ふあんハウスの舞台に出演できることも驚きでした。

そんなまさか！が続いて本当に夢のような時間でした。

あとは今回の公演を通して一皮むけたというか、演技って楽しいなと思うようになりました。

これらも劇団ふあんハウスをはじめ、色々などころでお芝居をしていきたいと思えますので、よろしくお願ひします！！！！

先ずは1月の公演！どんな役に出会えるか今から楽しみで仕方ないです。

（小声になりますが、台詞沢山ほしいなあ…。笑）